



## 学習指導要領改訂に向けた論点12

### 教科書・教材の在り方

- 発展的内容の充実や、新しい学習指導要領への対応などにより教科書の内容は格段に充実し、ページ数が大幅に増えている現状。
- 入試の在り方に関連し、教科書の内容を全て教えずにはいけないという考え方は依然として根強く、教科書のページ数の多さが、授業進度の速さや教育課程の実施に当たっての負担感を生んでいる実態も指摘されている。
- 教科書が経験の浅い教師でも充実した指導ができるように工夫されていることが、かえって教師の創意工夫や教師の指導力向上を阻んでいるのではないかと、といった指摘もある。校内の研修や教育委員会の支援等を通じて、単に教科書を教えるのではなく、どのような資質・能力を育みたいかという視点から、教師が教育計画を立てられるようにしていくことが重要。
- 一人一台端末の整備により、子供たちが多様な学習材に自らアクセスできるようになってきたという状況の変化も踏まえて、新しい学びにふさわしい教科書に掲載する内容や分量のほか、デジタル教科書の在り方等についてあらためて検討すべき。
- 教科書のみならず、多様な学びの充実を図るための教材の充実も重要。その際、AI等のデジタル教材をはじめ、学校用家具や学校施設（学校図書館や特別教室等を含む。）など子供の学ぶ環境全体に目を向けて、資質・能力の育成に必要な教材等の整備を行っていくことが求められる。



「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会 論点整理」（令和6年9月18日）

### 成功の裏に礼あり

実業家 渋沢栄一

人間はいかに学問があり、いかに智識があっても、これを約するに礼をもってするに非（あら）ざれば、満足なる成功は期し難いものである。

出典：「渋沢栄一 一日一言 人間力を高める言葉」（致知出版社）

※ 常に礼を尽くすよう、心掛けたいと思います。